

養建第997号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長
金井道夫様

養老町長 稲葉 貞



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のありましたみだしのことについて、
別紙のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

① 道路行政全般についての改善すべき点、要望や提案など

岐阜県養老町

社会、経済、生活を支える道路整備は、活力ある地域づくりや豊かな暮らしのためには、最重要課題であり、必要不可欠である。そこで、道路整備に対するニーズを踏まえ、重点化・効率化を進めつつ、真に必要な道路整備を計画的に進めてほしい。

平成20年5月13日に閣議決定された「道路特定財源等に関する基本方針」のとおり、道路特定財源制度は平成21年度から一般財源化されるが、必要と判断される道路は着実に整備され、地方財政に影響を及ぼさないよう措置されたい。また、暫定税率分も含めた税率は、地方の道路整備の必要性に鑑み、現行の税率水準を維持されたい。

地方道路整備臨時交付金については、地域の生活に密着した町道整備において必要な制度であり、今後も維持し、さらに拡充されたい。

○ 現状

近年、経済情勢の悪化や社会構造の変化など、本町を取り巻く社会環境は大きく変化し、複雑化している。これからのまちづくりを進める上で、これらの社会動向を的確に把握し、住みよいまちづくり努めていく必要がある。

○ 町民から見た養老町

住みやすく、今後も住みつづけたいまちと感じているが、「活気」や「豊かさ」「個性」「文化」などが乏しく、自慢できることも少ないまちであると感じている。

○ まちづくりへの町民の意向

将来に望むイメージとして、便利で快適に暮らせるまちへの期待が高く、そのなかで、多くの町民から遅れている分野として、道路網の整備への期待が非常に高い。さらに、地域産業については、企業誘致への期待が高まっている。

○ 課題

少子高齢化が進展し、生産年齢人口の減少による地域活力の低下が危惧されている。さらには、地域経済の強化を支える戦略的投資が求められている。

社会、経済、生活を支える道路整備は、活力ある地域づくりや豊かな暮らしのためには、必要不可欠である。そうしたなか、本町の道路網の整備は遅れており、高規格幹線道路や地域高規格道路を整備を推進し、地域間及び地域内の高速交通ネットワークを形成するとともに、自然災害に強い道路づくりを早急に推進する必要がある。

1. 基幹ネットワークの整備
高規格幹線道路の整備

2. 生活幹線道路ネットワークの整備
地域高規格道路の整備
現道拡幅及びバイパス整備

3. 安全・安心の確保
橋梁の耐震対策
歩道の整備

まちづくりの将来像（養老町第４次総合計画）

「人が織りなす 輝くまち 養老」

１．活力創出プロジェクト

（１）地域産業創出事業

- ① 東海環状自動車道をはじめ、国道２５８号線の４車線化やバイパスなどの整備による
企業誘致環境の向上

（２）住宅・宅地供給事業

（３）地域情報化推進事業

２．魅力向上プロジェクト

３．参画推進プロジェクト

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式④

岐阜県養老町

○ 重点事項	○ 代表事例	○ 期待する効果や評価等
・ 地域活力の向上	東海環状自動車道西回りルート of 早期完成	東海環状自動車道は、豊田市から四日市市までの沿線市町を環状に連結し、東名・名神高速道路、中央自動車道、東海北陸道や第二東名・新名神高速道路等と一体となって、広域的なネットワークを形成する極めて重要な高規格幹線道路である。 平成16年度に供用開始した東回りルートでは、企業進出が相次いでおり、地域の雇用環境にも大きく貢献した。 東海環状自動車道は、本町内の養老JCTにより名神高速道路と結ばれ、養老ICを介して他都市との連携・交流等の増進、四日市港・中部国際空港とも直結し、新たな連携による産業創出や雇用拡大など、地域の活性化に大いに期待している。